



くらしの道具展 5

スキンケア講習会 4

ひなまつり制作 3

第62回南大阪駅伝競争大会 2

「女流棋士・谷口由紀さんと将棋を学ぶ」 1

広報誌に掲載したあなたの写真を差し上げます。希望する人は、市役所広報・魅力発信グループへお越しください。

狭山池博物館では、平成30年度郷土資料館企画展「くらしの道具展」を3日まで開催しています。今回は、「衣・食・住と稲作や漁撈」をテーマに、洗い桶、箱膳、灰式カイトなどが展示されています。2月14日、社会見学に訪れた第七小学校3年生の児童たちは、現代の生活にあまりなじみのない道具の数々に興味深々でした。

1月24日、保健センターでスキンケア講習会が行われ、14組の親子が参加しました。お母さんたちは、赤ちゃんの体の洗いや保湿方法など、実際のスキンケアの方法を専門医や保健師から学びました。大阪狭山食物アレルギー・アトピーサークル「Smile・Smile」のメンバーも参加し、講習会に協力していました。

2月12日・13日、ぼっぼえんで「ひなまつり制作」が行われました。参加した子どもたちは、お母さん、お父さんと一緒に、シールをはったり、顔を書いたりしてひなまつりの飾りをつくっていました。できあがった後は、会場に飾られたひな人形の前で、自分の作品を手に親子で記念撮影をしていました。

2月3日、富田林のパーフェクトリバーテイル（P.L.）教団本庁内で第62回南大阪駅伝競走大会が開催されました。陽が差し込む暖かい気候の中、約1400人が参加し、次の走者にたすきをつなぎました。第三中学校が中学女子の部で7位に、中学男子の部で8位に入賞しました。

いろいろな年代の人たちが世代を超えて一緒に走る姿、応援する人や出番を待つ人からの激励や走り終えた人をねぎらう様子からは、チームの連帯感と温かい会場の雰囲気を感じられました。

1月27日、UPつぷで、女流棋士の谷口由紀さんを招いたオープニングイベントが開催されました。将棋が強くなる秘訣や勉強に関する質問に谷口さんが答えた後、多面指しによる指導対局が行われました。子どもたちはプロ棋士と対局ができる喜びをにじませながら、谷口さんの一手一手に見入っていました。

最後にはサイン会が行われ、じゃんけんに勝った10人が色紙をゲットしました。その場でサインを書いてもらったところを眺める子どもの表情は、とてもうれしそうでした。